

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年2月8日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部・経営学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年2月7日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	米国
留学先大学	ノースイースタン大学 (日本語名) Northeastern University (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	English/English
留学期間	2023年9月～2023年12月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: ダモア・マッキム経営大学 現地言語での名称: D'Amore-McKim School of Business  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月上旬～12 月中旬 2 学期: 1 月上旬～4 月下旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	
創立年	

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	5,840	878,700 円	寮
食費	2,600	391,200 円	一週に7食
図書費	130	19,500 円	
学用品費	50	7,500 円	
携帯・インターネット費	150	22,570 円	
現地交通費	100	15,050 円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	1,000	150,500 円	防寒用
医療費		円	
保険費	265	39,900 円	形態: 海外旅行保険
渡航旅費	2,193	330,000 円	
ビザ申請費	400	60,200 円	
雑費	100	15,050 円	
その他		円	
その他		円	
合計	12,828	1,930,170 円	

## 渡航関連

渡航経路
<b>往路 出発地:</b> 成田空港 <b>目的地:</b> Boston Logan International Airport <b>経由地:</b> Sanfrancisco <b>復路 出発地:</b> Boston Logan International Airport <b>目的地:</b> Incheon Airport <b>経由地:</b> Amsterdam
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:  料金:  ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: ZIP AIR & United Airlines   料金: 130,000 円  復路 航空会社: Zipair&Korean Air   料金: 200,000 円                   ∴ 合計: 330,000 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:    ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: Expedia) <input type="checkbox"/> その他(    )
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:    ) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン( <input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
大学からの案内
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
部屋は結構狭かったが、13 階に住んでたので景色はすごかった。寮の中にジムがあってよかったし寮の一階に食堂があってよかった。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

安定的だった

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

デビットカードとクレジットカードを使った。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

常備薬

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12	単位	<input checked="" type="checkbox"/> 認定中 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった: ビズネス関連の科目は制限があった		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Supply Chain and Operations Management		流通とオペレーション管理
科目設置学部・研究科		
履修期間	9/6~12/6	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に100分が2回	
担当教授	Prof. Power	
授業内容	原材料から最終顧客までの物流、情報、および金融取引の円滑な流れに不可欠なビジネス活動の総合的な管理に焦点を当てる。この協力的なアプローチは、サプライチェーンのすべてのメンバーに競争上の優位性をもたらす。サプライチェーンとオペレーションズ的设计、運用、制御に関する管理者の責任に重点を置く。顧客、グローバルゼーション、企業戦略、リソース、持続可能性、倫理、多様性を考慮する。顧客中心のマネジメント、サプライチェーンとオペレーションズ的设计、プロセス構造と制御、およびサプライ、在庫、品質管理などのトピックがカバーされる。情報技術、物流ネットワーク的设计、サプライチェーンの関係、プロセスの進化が重要な役割を果たすことを強調する。	
試験・課題等	3回の試験、個人プレゼンテーション、グループプレゼンテーション	
感想を自由記入	予習と復習が必須の授業であり、学ぶ内容の量もかなり多かったため、かなり大変だった。しかし、努力した分だけ多くを学ぶことができたので、授業は楽しかった。先生も情熱的なタイプで、わからないことがあればいつでも質問して回答を得ることができた。最も苦しかったが、同時に最も楽しんだ授業だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Global Climate Change	グローバル気候変動
科目設置学部・研究科	
履修期間	9/6~12/6
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	プレゼンテーション、試験(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	Prof. Cristina
授業内容	地球の現代気候システムと、45億年の地球の歴史にわたる自然な気候変動を分析する。現在進行中および将来の気候変動を検討する。予測される気候変動の影響と、緩和策や適応策も含まれる。
試験・課題等	2回の試験、グループディスカッション、グループプレゼンテーション
感想を自由記入	元々気候変動にかなり興味を持っていたため、この機会にちゃんと学んでみたいと思い、この授業を受けた。気候変動の基礎から現代社会における異常気象の問題まで扱っている授業であり、私が知りたかったすべてのことを学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to acting	演技入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	9/6~12/6
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	演技のレッスン (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	Prof. Victor
授業内容	俳優の創造的な心、体、精神を目覚めさせる技術を紹介する。劇場のゲームや声や動きの練習を通じて、役の準備に俳優が使用する技術を探求し、発展させる機会を提供する。学生は現代劇からのシーンをリハーサルし、演技する。演劇専攻ではない学生向けに設計されている。
試験・課題等	モノローグ、グループ演技
感想を自由記入	交換留学でしかできない経験を得るために受講した授業である。この授業を通じて、人の前で演じることでストレスが解消できることを知り、演技するのがかなり楽しいということも知った。私にとって非常に意味深い授業だった。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)  
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	出願、面接
留学開始年	1月～3月	結果発表、出願
	4月～7月	予防接種、ビザの取得、滞在先の確保、航空券購入
	8月～9月	出発、9月:授業開始
	10月～12月	12月:期末試験
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

もっと広い世界を経験し、新しいものを受け入れる練習をしたかったので、留学を決めました。アメリカという国で、しかも教育都市であるボストンで交換留学をすることは、私の人生にとって分岐点となりました。レベルの高い教育や異なる文化に触れることで、自分の世界がさらに広がることを実感したのです。

交換留学生として来た学生たちがほとんどが同じ寮に住んでいたため、早い段階で仲良くなることができました。世界中から来た学生たちなので、私にとって貴重な縁となりました。彼らとの交流を通じて、言葉や文化の違いを超えて心のつながりを感じ、新たな価値観を身につけることができました。彼らの生き方や考え方を知ること、自分の見解や人生観も少し変わったと思います。

ボストンは大学生にとって最高の場所だと思います。アメリカの他の地域と比べて公共交通機関が整備されているため、車がなくてもどこにでも行きやすいです。この点が私にとって本当に大きな利点でした。寮のすぐ前に電車の駅があるので、どこかへ移動する際にどんな不便も感じませんでした。治安も比較的良いため、夜遅くまで外出しても大きな危険を感じませんでした。学期初めには学生向けのイベントがたくさん開催されます。その機会を活用して友達を作ることもいいと思います。また、ボストンを楽しむための交換留学生向けのイベント(ボストン観光ツアーや野球観戦など)のおかげで、様々な体験をすることができました。